

大口町プロモーション通信

No.26

桜だけじゃない！五条川、秋の風景
彼岸花

五条川の堤防に今年も彼岸花が見事に咲きました。

今では春の桜と同様に、五条川の秋の風景を彩る彼岸花ですが、その景色は、大口町の住民の保全活動が支えています。

大口町には桜を保全するために、多くの住民団体が、堤防の草刈りや清掃を自主的におこなっています。その活動の中で、彼岸花の生育を助けるために、9月初旬に芽を切らないように除草作業をおこない、花が終わって葉が出る10月初旬には、葉を切らないように再び除草をします。この作業が、次の彼岸花の開花に影響するそうです。丁寧な手入れのおかげで、花の数は増え、最近では白い彼岸花も数を増やし、紅白の花が楽しめます。

▽五条川で活動する桜保全団体

河北クラブ・上小口倶楽部・中口倶楽部・大口町環境を守る会・みんなの清流会・わくわくおおく



ち21

おおぐち宣伝部

インスタグラムをフォローしよう！

おおぐち宣伝部では、インスタグラム「おおぐち宣伝部」で、大口町の魅力を紹介しています。大口町の隠れスポット・風景・お店など、大口町の情報を掲載しています。みなさんからの情報も大募集！「#大口町大好き」で検索、投稿してね！

問合せ先 おおぐち宣伝部

☎22-6642



おおぐち宣伝部
Instagram

高齢者と障がい者の総合相談窓口

大口町地域包括支援センター便り

コロナ禍における障がい者等の交流

新型コロナウイルス感染症に引き合せて開催されたパラリンピックが閉会しました。世界中の障がい者アスリートが活躍する姿に感動した方も多いはずです。スポーツを通してこれからの共生社会に向けての気づきを

得た方もいるのではないでしょうが。さて、大会は無観客で、PCR検査やアクリル板を設置するなどの対策が十分になされました。

一方で実際の障がい者の暮らしはそもそも声のかけ方や近づき方にも配慮は必要なのですが、これらの感染症対策のため以前よりサポートが受けにくい状況になってしまつたという課題が生じています。

コロナ禍においての障がいのある方への配慮について考えてみましょう。

▽距離を保った会話は大切だが、誘導等で直接触れることが必要な視覚障がいの方に配慮する。

▽生活様式の変化等に慣れるのに時間がかかる知的障がいの

方や精神障がいの方に配慮する。

▽車椅子利用の方でも利用しやすい場所に感染症対策グッズを設置する。

▽聴覚障がいの方に対し、筆談ボードや□元が分かるようにフェイスシールドを使うなど、コミュニケーションの方法に配慮する。

ここに挙げたことはほんの一例です。障がいへの配慮の輪が広がることにより、だれもが暮らしやすいよりよいまちになるということです。

大口町地域包括支援センターでは、お電話での相談やご自宅を訪問しての相談もできますので、お気軽にお問い合わせください。

大口町地域包括支援センター
☎94-2227



障がいのある方への配慮